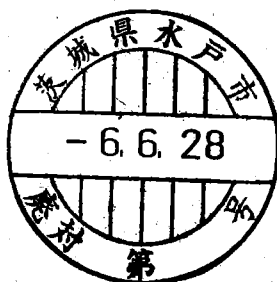


(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月26日

水戸市長 高橋 靖 様



提出者

住 所 水戸市中央1-4-1

氏 名 水戸市上下水道局下水道部
水戸市上下水道事業管理者 園部 孝雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 029-224-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	水戸市浄化センター
事業場の所在地	水戸市若宮1-1-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	中分類：水道事業，小分類：下水道業
②事業の規模	【水戸市第1号公共下水道】 処理施設能力：62,600 m ³ /日 処理面積：3,510 ha
③従業員数	計35名（下水道施設管理事務所15名，維持管理会社20名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	
	排 出 量	845,859.00 t	- t
	(これまでに実施した取組) 下水処理に伴い発生する汚泥量は、処理水量の増減により推移するため排出量の抑制対象にはならない。したがって、脱水工程後に搬出される下水汚泥量の削減のため、消化槽による汚泥の減量化に取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	
	排 出 量	845,900.00 t	- t
	(今後実施する予定の取組) 処理水量の増加に伴い、汚泥量の増加が見込まれる。脱水工程後に搬出される下水汚泥量の抑制のため、消化槽による汚泥の減量の取り組みを今後も継続していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	839,181.00 t	- t
	(これまでに実施した取組) 水処理過程で発生した汚泥は、濃縮・消化・脱水を行い減量している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	839,990.00 t	- t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥消化を促進するとともに、脱水機の更新による含水率の低減によって減量化率を向上させる。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

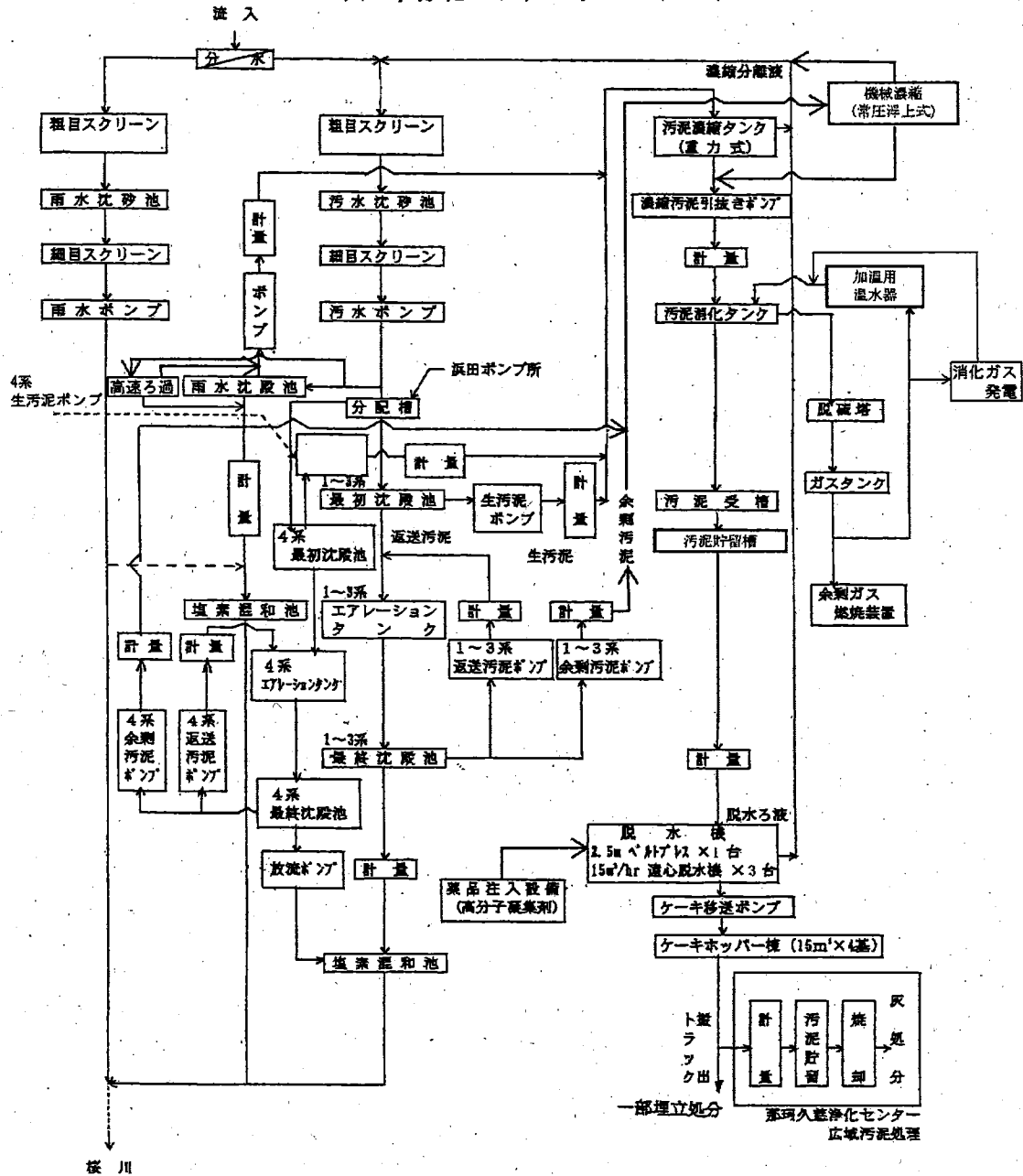
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	
	全処理委託量	6,677.00 t	- t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
	茨城県那珂久慈ブロック広域汚泥処理事業に参画し、焼却による汚泥の減量化を実施している。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水汚泥	
	全処理委託量	5,910.00 t	- t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 処理水量の増加に伴い、汚泥量の増加が見込まれる。消化槽における汚泥の減量化及び、脱水機の更新による含水率の低減によって引き続き増加量を抑制する。		
※事務処理欄			

水戸市浄化センターフローシート



別紙②

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

